

# 風水害に対する心得①

## 避難情報と避難行動

避難情報が発令された場合、どのような状況でどんな行動をとらなければならないか確認しましょう。

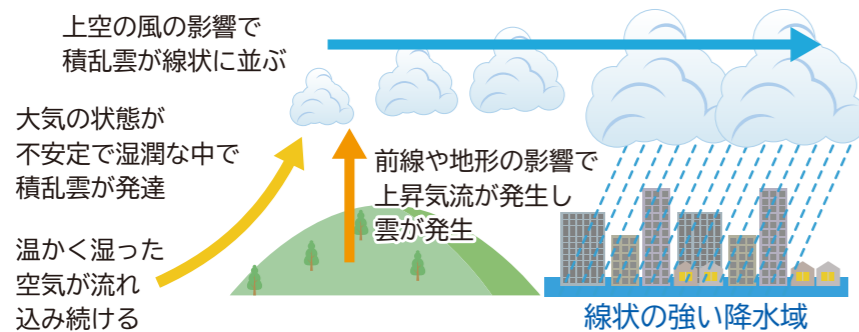
警戒レベル	避難情報等	周囲の状況	市民が取るべき行動	防災気象情報※
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	今後の気象状況 悪化のおそれ	災害への 心構えを高める	早期注意情報
2	大雨・洪水 高潮注意報 (気象庁が発表)	気象状況悪化	自らの避難 行動を確認	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報
3	高齢者等避難 (鈴鹿市が発令)	災害発生のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難 早めの避難を!!	大雨警報 洪水警報 高潮注意報※ ※高潮警報に切り替える 可能性が高いもの
4	避難指示 (鈴鹿市が発令)	災害発生のおそれ高い	危険な 場所から 全員避難 移動が危険な 場合は2階以上へ 垂直避難!	高潮警報 氾濫警戒情報 土砂災害 警戒情報
<b>《警戒レベル4で必ず避難完了》</b>				
5	緊急安全確保 (鈴鹿市が発令)	災害発生 又は切迫	命の危険! 直ちに 安全確保!	大雨特別警報 氾濫発生情報

※防災気象情報は気象庁や県などが河川水位や雨の情報にもとづいて発表している情報です。市町村の警戒レベルに相当しており、避難の目安となります。

## 線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50~300km程度、幅20~50km程度の強い降水をともしょう雨域を線状降水帯といいます。

### 線状降水帯の発生メカニズム



【注意点】線状降水帯の雨域がかかっている地域であっても、危険度の基準を満たしていないときは、顕著な大雨に関する気象情報は発表されません。また、線状降水帯の雨域の楕円の外側の地域であっても、大雨による災害発生の危険度が高まっている場合があります。災害発生の危険度が高まっている場所の詳細はキキクル(危険度分布)で確認してください。

## 避難の原則

避難の原則は、避難所など危険性のない場所へ早期に移動する「立退き避難」です。ただし、道路の冠水や河川の氾濫、土砂災害など避難するには危険な状況と判断される場合は、近隣の安全な場所(頑丈で2階建て以上の建物や標高の高い場所)や「屋内安全確保」により安全を確保しましょう。

## 立退き避難(水平避難)と屋内安全確保(垂直避難)

### 立退き避難(水平避難)

危険な場所から収容避難所等の安全な場所に避難すること

収容避難所  
マップに載っているこのマークの場所へ!

### 注意点

避難経路が浸水した場合、移動は危険なことから、浸水などが発生する前、明るいうちに避難をする。

### 屋内安全確保(垂直避難)

浸水のおそれのない頑丈な建物の2階以上に避難すること

### 注意点

浸水が長時間継続した場合、取り残されてしまう危険性があるため非常備蓄品や連絡手段なども必要です。

自宅等が安全な場合は、避難所等に行く必要はありません。

## 早期の立退き避難が必要な区域

家屋が倒壊するような大規模な氾濫や河岸浸食が発生するおそれがある区域、家屋の最上階も水没するおそれがある区域は早期の立退き避難が必要です。

早期の立退き避難が必要な区域	指定区域の種類	発生する現象と避難行動	
	家屋倒壊等 氾濫想定区域	氾濫流	堤防決壊などにより流速の速い「氾濫流」が発生するおそれがある区域です。木造家屋は倒壊するおそれがあります。
		河岸浸食	家屋が倒壊するような「河岸浸食」が発生するおそれがある区域です。地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。
家屋が水没する おそれがある区域	最上階も水没するような浸水のおそれがある区域です。屋内に留まることにより命に危険がおよぶおそれがあります。		

# 風水害に対する心得②

## 浸水による被害について

近年、集中豪雨の多発や台風の大型化などで浸水被害が増大しています。周囲の状況や警戒レベルをよく確認して避難のタイミングや方法を決めましょう。

### 避難する際の心得

#### 明るい間に！浸水前の避難が原則！



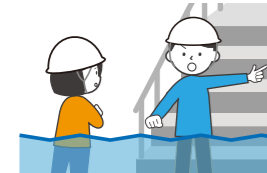
浸水スピードは想像以上に速く、あっという間に避難が困難になることがあります。「まだ大丈夫」と思わずに、浸水が始まるまでに避難しましょう。

#### 立退き避難ができるか状況を把握



家の周囲や避難経路の状況と今後の予想を確認し、避難できる状況かどうかを把握しましょう。夜間の場合や避難経路の浸水具合により屋内安全確保に切り替えましょう。

#### 浸水時の歩行は困難。屋内安全確保へ



歩ける深さは大人でひざ程度ですが流れが急な場合、歩行は困難になります。浸水が腰まであるようなら避難が困難なため高所で救助を待ちましょう。

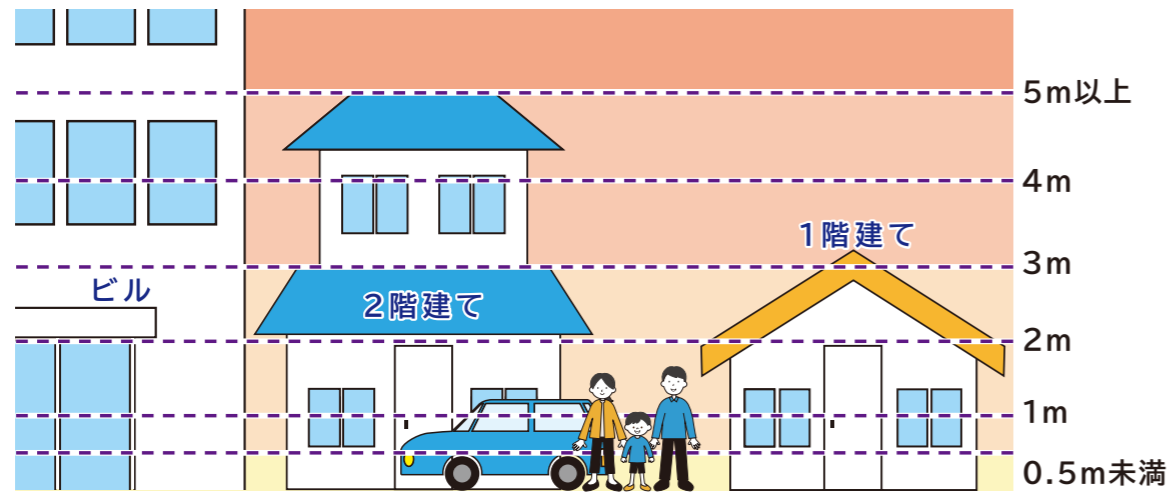
#### 見えない足元に危険が潜んでいる



道路冠水時には、濁流で側溝、水路、マンホール（蓋が外れている可能性あり）が見えなくなるので、深みや溝を確かめるため長い棒を杖にしながら歩きましょう。

- ・ 浸水前の避難！
- ・ 明るいうちに避難！
- ・ 周りを誘って避難！

### 浸水の深さの目安



#### 0.5m未満の浸水

- ・ 床下浸水のおそれ
- ・ 大人の膝あたりまで浸水
- ・ 歩いて避難する場合は十分注意



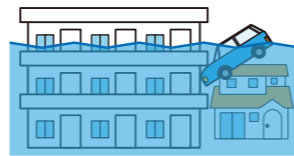
#### 0.5m～3.0m未満の浸水

- ・ 1階部分まで水没のおそれ
- ・ 歩いて避難は危険



#### 3.0m以上の浸水

- ・ 2階以上が水没のおそれ



浸水が想定される区域は早めの立退き避難をしましょう。

## 土砂災害警戒区域等

大雨や地震の際には土砂災害にも注意が必要です。自宅や普段よくいる場所（会社や学校など）が安全な場所か確認しましょう。

### 土砂災害警戒区域等

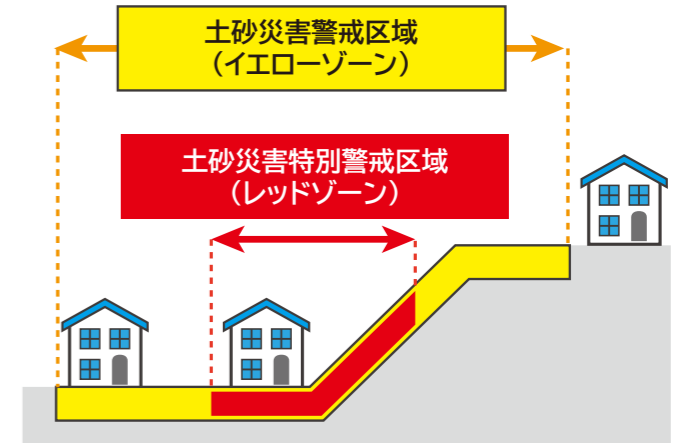
土砂災害発生のおそれがある区域は、三重県が指定しており、その危険度に応じて「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」に分かれています。

#### 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合、住民等の生命・身体に危害が生じるおそれがある区域

#### 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のうち、建物等に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域



## 土砂災害の特徴と前兆現象

豪雨などで地盤がゆるみ、土石流や地すべり、急傾斜地の崩壊といった土砂災害を引き起こす可能性があります。前兆現象に注意し早めの避難を心がけましょう。

急傾斜地の崩壊	土石流	地すべり
<p>急傾斜地</p> <p>イエローゾーン レッドゾーン</p> <p>雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。</p>	<p>土石流のおそれのある溪流</p> <p>イエローゾーン レッドゾーン</p> <p>山や谷、川底にある土砂・石が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流されることをいいます。</p>	<p>地すべり区域</p> <p>レッドゾーン イエローゾーン</p> <p>斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面の下方向へ移動することをいいます。</p>
<b>前兆現象</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がけからの水がにごる</li> <li>・ がけにひび割れ、変形がある</li> <li>・ 小石が落ちてくる</li> <li>・ がけから音がする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山鳴りがする、異様なにおいがする</li> <li>・ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる</li> <li>・ 川がにごったり、流木が流れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地鳴りがする</li> <li>・ 地面にひび割れができる</li> <li>・ 井戸や沢の水がにごる</li> <li>・ がけや斜面から水がふきだす</li> </ul>

前兆現象に気づいたら、すぐに安全な場所に避難し、市や消防、警察などに通報しましょう。